

期待を胸に新たな一歩を踏み出す新隊員

「二期一会の出会い」を大切に絆を紡ぎながら新たな挑戦の始まりへ

静岡地方協力本部は3月25日、本部庁舎で陸上自衛隊武山駐屯地(神奈川県)の一般曹候補生として入隊予定者の見送りの行事を行いました。

午前8時半、静岡市在住の入隊予定者6人が、リュックやバッグを手に家族とともに本部庁舎に集まりました。見送りの行事では、緊張した面持ちの入隊予定者の前に田代本部長が立ち上がり、激励の言葉を述べました。

また、同席した家族に向けて「自分の親も、自衛隊に送る時は不安を感じていました。子供たちはこれから新しい環境で訓練に励みます。どうか帰った時にホッとしてくれるように」と温かな言葉をかけました。

その後、入隊予定者は地本本部長の盛大な拍手に送られてバスに乗り込み、車窓から家族や隊員に手を振りながら駐屯地へ立ち去りました。



盛大な拍手で見送り

陸・海・空各教育部隊の入隊支援を展開

入隊予定者に寄り添い、笑顔で新たな一歩へ

静岡地方協力本部は、3月下旬から5月上旬にかけて、陸・海・空各教育部隊への入隊業務支援を行いました。

3月31日には、陸上自衛隊中部方面隊の一般曹候補生および自衛官候補生の入隊のため、大津・福知山・大久保・千原の各駐屯地に地域事務所長や広報官を派遣し、入隊予定者を支援しました。

入隊予定者の中には、緊張と不安が入り混じった表情を見せる者もいましたが、受け付けや身体検査、被服採寸など、教育隊からの丁寧な案内を受ける中で、徐々に不安が解消されていく様子が見られました。

また、隊員らから丁寧な声援を受ける場面もあり、入隊式として、隊員らから「元氣よく入隊してください」との励ましの言葉をいただきました。



さまざまな表情で着隊

スキーチャンピオンから自衛官への挑戦

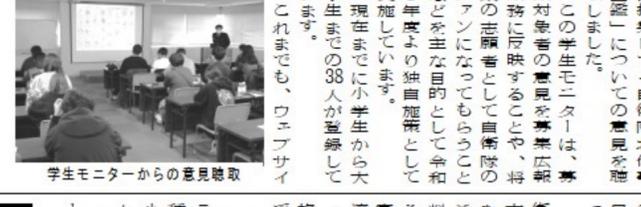
増田さくらさんの決断と覚悟

18歳の増田さくらさんは、ナミツな動きとターンで、旭川明成高校を卒業したアイススケート選手です。

高校2年生の時には、女子大回戦まで全国高校総体、国民体育大会、全国高校選手権大会で優勝。そして、高校3年生の時に、海外で国民スポーツ大会の2つのタイトルを獲得しました。

彼女の誇りのスタイルは、男子選手にも負けないアイススケート選手としての自信と、将来の夢は自衛官で、自衛官の両親が災害派遣で家を不在にする事は、寂しさよりも自衛官で活躍できることに憧れていた。自衛官の両親が災害派遣で家を不在にする事は、寂しさよりも自衛官で活躍できることに憧れていた。

増田さんは「大変忙しく、難しいけれど、スキーで培ったメンタルの強さと同期生との絆で頑張ります。皆さんのサポートを自衛官になるまで大切にしたい」と決意を述べました。



防大にて母親と記念撮影

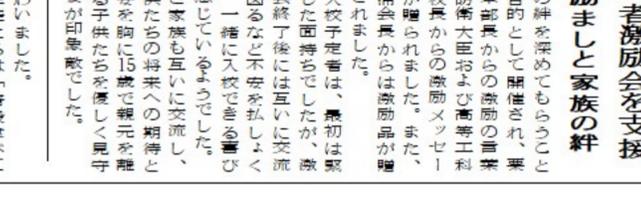
学生の意見を取り入れ広報資料を改善

「自衛隊お仕事図鑑」の進化に着手

大府地方協力本部は3月24日、学生モニター25人を大府合同庁舎自衛隊分庁舎に招き、「自衛隊お仕事図鑑」についての意見を聴取しました。

この学生モニターは、専攻分野の異なる学生が、自衛隊の魅力を伝えるための資料として活用されています。今回の聴取では、学生からの意見を取り入れ、図鑑の進化に着手しました。

学生モニターからは、「自衛隊の魅力を伝えるための資料として活用されています。今回の聴取では、学生からの意見を取り入れ、図鑑の進化に着手しました。」



学生モニターからの意見聴取

自衛隊生徒入校予定者 未来の自衛隊員への励ましと家族の絆

自衛隊生徒入校予定者 未来の自衛隊員への励ましと家族の絆

福島地方協力本部は3月17日、三春交流センターにおいて、福島県自衛隊生徒入校予定者の会(会長・三浦隆)が主催する自衛隊生徒入校予定者励進会を開催しました。

この励進会では、陸上自衛隊高等工科学校入校予定者が集まり、同期として入隊した面持ちでしたが、励進会終了後は互いに交流を図るなど、不安を払しょくし、一緒に入隊できる喜びを感じているようでした。

子供たちの将来への期待と不安を胸に15歳で親元を離れる子供たちを優しく見守る姿が印象的でした。

栗木本部長による激励

レスリング選手の地元訪問と壮行会

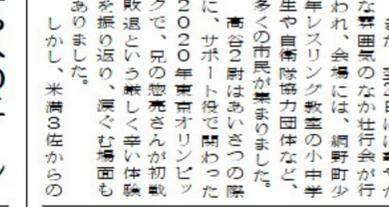
オリピックへの道、地元の温かさを味わって

京都地方協力本部は3月19日と20日の2日間、パリ五輪レスリング男子74kg級で日本代表が内定している、高谷大地2等陸自の地元高谷市を訪問しました。

高谷2等は、京都府立網野高校(現・丹後線網野高校)から高谷市立高等学校に進学し、現在は自衛隊体育学校レスリング部に所属しています。

3月19日の高谷市役所訪問では、オリピックの又文リポートである、監督の井上謙二2等陸自とコーチの米澤達也3等陸自などが同席しました。

高谷2等は、中山百丹後市長との懇話会「オリピックと平和の架け橋である」ということを、皆が胸を抱き合っており、温かさを味わっていました。



地元自衛隊協力団体などの壮行会

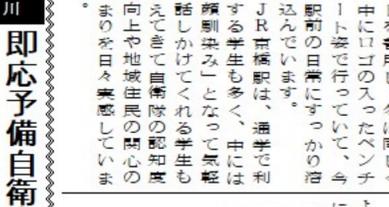
自衛隊募集促進活動が地域で好評

中央地区隊募集案内所の取り組み

大府地方協力本部中央地区隊募集案内所は、令和5年度の自衛隊募集案内所として、毎日1回、必ず市街地広報を実施し、街の隅々まで自衛隊の魅力を伝える取り組みを行っています。

1時間程度、手の届いた所、区隊募集案内所は、令和5年度の自衛隊募集案内所として、毎日1回、必ず市街地広報を実施し、街の隅々まで自衛隊の魅力を伝える取り組みを行っています。

また、20日には、高谷市役所を訪問し、監督の井上謙二2等陸自とコーチの米澤達也3等陸自などが同席しました。



ラッピングされた路線バス

即応予備自衛官の健康管理

旭川 即応予備自衛官の健康管理

旭川地方協力本部 即応予備自衛官等陸自 岡澤慶樹

私は、平成30年3月に自衛隊を退隊し、翌年1月に予備自衛官になりました。予備自衛官としての健康管理について、旭川地方協力本部 即応予備自衛官等陸自 岡澤慶樹

予備自衛官としての健康管理について、旭川地方協力本部 即応予備自衛官等陸自 岡澤慶樹

路線バスで隊員募集PR開始

期待に応える新たな募集広報の道

山形地方協力本部は、4月1日から路線バスを活用して隊員募集のPRを開始しました。

PRすることが目的であり、車両そのものを活用したPRは山形県としては初めての取り組みです。

山形県バスおよび加能バスは、山形県内各地で運行されている路線バスに、自衛隊の魅力を伝えるためのPRを開始しました。



ラッピングされた路線バス

海自護衛艦の支援で調理実習を提供

給養職種を紹介しながら交流を深める

青森地方協力本部は2月27日、青森山田高等学校で、海上自衛隊護衛艦おおよとと連携し、調理実習を行いました。

調理実習では、生地に調味料を混ぜ、盛り付けを指導し、協力して調理することで交流を深め、自衛隊の給養職種の認識と魅力を伝えることができました。

調理が終わると、給養員と一緒に完成したカレーを味わいました。

生徒たちは「普段食べているカレーは、一味違う、海自カレーはとて美味しかったです」「自衛隊にも調理する職種があることを初めて知りました。今後調理の参考にしたいと思います。」と感想を述べました。

実習が終了した後、青森県内所轄の広報官が、自衛隊の概要説明を専用パンフレットを配り、生徒たちは興味深く話を聞いていました。



ラッピングされた路線バス

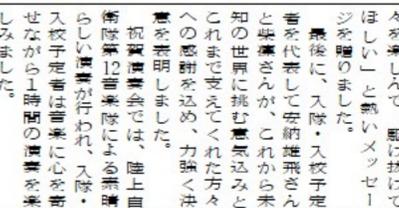


新たな旅立ちへのエール

栃木地方協力本部は3月9日、宇都宮短期大学付属高等学校大ホールで「令和5年度栃木県自衛隊入隊式」を開催しました。

式典では、入隊・入校予定者とその家族211人、来賓36人が参加し、激励式典と祝賀演説会が行われました。

青木本部長防衛協会会長や福田本部長防衛協会副会長や福田本部長防衛協会副会長や福田本部長防衛協会副会長が激励の言葉を述べました。



先登隊員からのエール

即応予備自衛官の健康管理

旭川 即応予備自衛官の健康管理

私は、平成30年3月に自衛隊を退隊し、翌年1月に予備自衛官になりました。予備自衛官としての健康管理について、旭川地方協力本部 即応予備自衛官等陸自 岡澤慶樹

予備自衛官としての健康管理について、旭川地方協力本部 即応予備自衛官等陸自 岡澤慶樹

ひとりで悩まずご相談下さい!

自衛隊家族会は、★決して会員をひとりにしません! ★いつもそばにおります! ★解決に向けてみんなで汗をかきます!

1 「近いの会員へ、お気軽に問い合わせ窓口へ」

自衛隊家族会事務局(担当) 高橋 隆志(たかしの たかし)
☎電話: 03-5227-2468 (平日 09:00-17:00)
☎メール: ikazokukai@kazokukai.or.jp (同上)

「総務相談員」 宮下 勇広(みやしたの としひろ)
☎電話: 080-4630-8987 (全日 09:00-20:00)

2 問い合わせ「相談員」

役職・氏名	担当内容
家族会副会長(陸自OB) 宮下 勇広	◆家族(隊員)に関する問い合わせ(主に陸上自衛隊)
家族会理事(陸自OB) 宗像 久則(むねのり) ひさお	◆家族会全般に関する問い合わせ
家族会理事(海自OB) 船橋 雅和(かつ) まさかず	◆家族(隊員)に関する問い合わせ(主に海上自衛隊)
家族会運営委員(空自OB) 荒木 洋一(あらかい) じゅんいち	◆家族(隊員)に関する問い合わせ(主に航空自衛隊)
家族会事務局員 高橋 隆志	◆家族会の管理に関する問い合わせ

相談無料! 個人情報・秘密厳守! 問題解決実績多数!

隊員及び家族の皆様への遺言アドバイザー

(遺言・相続専門)

遺言書がなく揉める相続、揉めたら全員が敗者です。あなたの遺言書があなたの家族を守ります。「遺言書」づくりをサポート致します。

遺言書は、家族の絆の証明書!!

行政書士 柴田純一 行政書士

行政書士 柴田法務会計事務所
〒117-0035 東京都港区大田区2-24-13 3F 03-6780-1000-1800
TEL 03-6780-1408 FAX 03-6780-1409
Email: info@yuigonsya.biz https://yuigonsya.biz